

# ゴールデンゲートブリッジ

Bridges of the World

アメリカ・サンフランシスコ



モントセラト・2012年発行

サンフランシスコ湾の玄関口にあたるゴールデンゲートに巨大な赤い吊橋がそびえ立っています。1937年5月に完成したこの吊橋は中央径間が1280m、3径間の全長は1970m、完成当時世界最長を誇り、その後1964年までその地位を守りました。

この橋の完成には、ジョセフ・シュトラウスという橋梁技術者の八面六臂の活躍がありました。ゴールデンゲートは年中吹く強い風と早い潮流、そして深い海底という自然条件ばかりでなく、軍艦などの重要な航路となっていることも克服すべき課題となりました。

橋の建設は有料橋事業として計画され、そのための特別行政区域（ディストリクト）が設定され、区域の住民は建設のための納税義務を負うことになりました。シュトラウスは住民の説得、債券（ボンド）による資金調達、建設に懐疑的な専門家への反論などに精力を注ぎ込まねばなりませんでした。

サンフランシスコ側の主塔の基礎は難工事の末、水面下33mの岩盤の上に設置され、高さ226mの主塔を支えてい

ます。この橋は世界でもっとも美しい吊橋であると言われてきましたが、そのポイントは塔の造形にあります。塔のデザインはアービン・モローが担当しました。上へ行くほど柱を細くして、屹立感が強調されています。横梁の本体は2つのX型の部材が組み合わされた構造になっていますが、それをカバーで隠し、門型のラーメン構造が重ねられているように見せています。そしてその表面には直線的な凹凸を加えて適度な陰影を作り出したアールデコのデザインになっています。この橋の赤い色はインターナショナルオレンジとされていますが、一般的な黄赤とは違ってかなり深い赤のように見えます。

橋面は6車線で、1日12万台以上の通行がありますが、効率的に運用するために2つの車線の方向を切り替えることができるように工夫されています。通行料金は2016年時点では普通車が7.5ドル（カリフォルニアETCを利用すると6.5ドル）となっています。また、両側に歩行者自転車道が設置されており、無料で通行できますが、歩行者は基本的には昼間の利用に制限されています。

